# コンパス

心をこめて精一杯活動実施中
加古川市立
志方東小学校
令和６年度
道徳便り　第４号
R6.12.3発行

## ①　人権参観日（11月26日）から

２校時に人権授業参観、３校時にインターネットトラブル防止講座（PTA家庭教育大学を兼ねて）を行いました。たくさんの保護者様、地域の皆様にお越しいただきありがとうございました。各学年それぞれに人権課題の解決に向けての授業に取り組みました。全学年・学級の授業について、内容や児童の感想等をご紹介させていただきます。

また、インターネットトラブル防止講座では毎年お世話になっている篠原嘉一先生を講師に迎え、全校児童と保護者が一堂に会して話を聞きました。ネットやゲームを正しく安全に扱うことの大切さについて、改めてふりかえることができました。今一度家庭でのルールについてお子様と確認していただければと思っています。

## 1年生　「はしのうえのおおかみ」

ねらい…身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

おおかみ、うさぎ、くまになって演技をすることで、子どもたちは登場人物の気持ちがより深く考えられていました。心情の変化に気づくことができ、自分の生活に活かそうと思えた子どもたちがいました。

**ふりかえり**

・わたしは、おおかみが、さいご　やさしかったのが　よかったとおもいました。
・わたしは、うれしくなった。いいきもちになりました。
・さいごのばめん　うさぎと　おおかみが　にこにこしていたのが　いいとおもった。
・おおかみが　こわかったけど、あとから　おおかみが　えがおになったから　いいなとおもいました。
・わたしだったら　いじわるをしないようにしたいです。
・いじわるは　やめないと　いけないなと　おもいました。

## 2年生　「何であかんのやろ」

ねらい…　何気なく言った言葉が人を傷つけてしまうことを知り、安易な言葉で誰かを傷つけないよう、人の気持ちを考えて行動する態度を身に付けさせる。

子どもたちも主人公の女の子のように、インターネット端末を使うことが好きだと話していました。動画やインターネットに書いていることの中には正しくないこともあると知り、インターネットの情報に流されないようにしたいと、考えを深めることができました。

**ふりかえり**

・人のことを考えてこうどうするといいなとおもった。これからもうざいとかのことばをつかわないようにしようとおもった。
・あいてのきずつくことばは、くちにださないというのがわかりました。どうがが、いっていることを、しんじないというのがわかりました。これからは、どうがが、いっていることは、しんじないというのを、きをつけていきたいです。

## 3年生　「ちがいのちがい」

ねらい…「あってもよいちがい」と「あってはいけないちがい」について考えることを通して、人権尊重の視点や多様性を認める心を育てる。

保護者の方に参加していただき、９つの例から「あってもよいちがい」「あってはいけないちがい」について考えました。今の自分の生活の中で理由や答えを自分なりに考えていました。これから学んでいく中で、いろいろなことに気づいて、気持ちの変化や成長が見られるといいなと思います。

**ふりかえり**

- 分かったことは、みんなそれぞれダメなことやいいことがあるということです。
- ちがいがいいか悪いかを考えるのはむずかしかったです。理由は、いい方の考えもわるい方の考えも分かるからです。
- わたしは、いろんなちがいに気づけてうれしかったです。〇や△や×がいろいろありました。
- 思ったことは、せいべつにかんけいなくたいどをかえるのはよくないということです。
- 一人一人できることはちがうとわかりました。

## 4年生　「バルバオの木」

ねらい…受け継がれる生命のたくましさに感動し、生命あるものを大切にする心を育てる。

命とは受け継がれるもの、いつか終わりがあるもの、たった１つしかないもの。この３つのことを、教材や私の経験談を通して学べるように、授業を構成しました。

**ふりかえり**

- 命を次の世代につないでいく大切さをバルバオの木から学びました。命をそまつにしてはいけないと思いました。
- 命は、たった１つしかないものだから大切にしようと思ったし、困っている人がいたらバルバオの木みたいに助けたいです。
- 受けついできた命は、自分１人のものではないことがわかりました。これから、もっと命を大切にして生きていきたいと思いました。
- どんなものでも命はあるので、自分の命だけではなくみんなの命を大切にして、困っている人がいたら助けてあげたいです。
- たった１つしか命はないので、毎日を大事にみんなが幸せになるようにすごしていきたいと思いました。

## 5年生「たった一言の違いが」

ねらい…SNS(ソーシャル･ネットワーク･サービス)でのコミュニケーションについて、実際のコミュニケーションとの違いに気づき実生活にいかそうとする。

SNS は文字だけなので、相手の気持ちがわかりにくいです。相手がどう思うか、どう感じるかをメッセージを書く前に考えることが大切です。また、SNS に頼りきらず、直接ふれあうコミュニケーションを大切にしてほしいです。

**ふりかえり**

- 文字だけだと感じ方の違いが出てきてしまうから、文やスタンプをわかりやすくしたらいいということを知りました。
- 誤解をうまないように文章を読み返す。
- これからスマホを持つようになったら、メッセージアプリなどの使い方に気を付けないといけないなと思いました。
- あまり遠回しな言葉は使わずに、わかりやすい言葉を使えばいいと思いました。

・LINE をするときは、書いたことを読み返すことが大切なんだと思いました。今の時代はボイスメッセージが使えるから便利だなと思いました。
・メッセージアプリは便利だけど、直接会って話した方がいい。
・スタンプや文字を確認する。書いたことを見直す。メッセージアプリが原因で仲間外れにされてしまったら、理由を聞いて考える。
・メッセージアプリに頼りすぎない。会って話ができることは、会って話す。メッセージアプリで問題が起きたとしても、無視したりしない。

## 6年生　「自分の花」

**ねらい**…自分たちの生活が様々なものによって支えられ、また、自分も周りの誰かを支えていることに気づき、生命を尊重する心情や態度を育む。

相田みつをさんの詩を紹介した後、事故で全身まひになった中学教師が周りの人の支えによって奇跡的に回復し担任として復帰した話を紹介する動画を視聴しました。６年１組の皆さんにも生きがいを見つけて自分らしく生きてほしいと願っています。それを周りの人たち（お家の人、先生、友達…）が「根」となって支えています。そして皆さんも「根」となって誰かの支えになれることを願っています。

**ふりかえり**

・今日の学習で、自分の花を咲かせるために、枝、根、幹は、全部、私達のことを大切に思ってくれている、大事にしてくれている人たちのことだと思いました。一人では咲かせられない花でも、色々な人達に支えられ、自分も頑張ることで咲かせたいです。
・私はこの学習で、自分の花を支えてくれている・咲かせてくれているのは、〝家族〟や〝友達〟など周りにいる人たちのおかげで、今を大切に生きられているんだと思いました。今、たくさんの人たちに支えられていることは、次私達がたくさんの人を支える番が来たら、しっかりとみんなが思っている願いを叶えて、お返ししていきたいと思いました。
・わたしは今回の道徳を振り返って、わたしが花だとしたら、根は大切な家族で、その家族に願われていることに答えて、これからみんなと支え合って幸せに生きていこうと思いました。
・この学習をして私はたくさんの人に支えられていることに気づきました。そして、自分を支えてくれている人にも感謝をして生きていきたいなと思いました。また、腰塚さんのように何事にも挑戦してたくさんの人を支えていきたいなと思いました。

## なかよし学級　「ぼくはぼく」

**ねらい**…頑張ったことや楽しかったことを振り返ることを通して、いいところや頑張りを認められ、みんなから応援されている自分であることに気づく。

２学期に頑張ったことや楽しかったことを発表する。頑張ったことや楽しかったことに対する、友だちや先生や地域の方のメッセージを読む。手紙では、頑張りや上手にできたことを認められ、一緒にいることが楽しいというメッセージをもらった。

**ふりかえり・感想**

・金閣寺がピカピカだった。正倉院があった。宝物がかくしてあった。さるが、はなれた階段の間をジャンプした。**（修学旅行）**
・残響散歌のダンスをみんなでできて楽しかった。夢幻のダンスのきらきらがうれしかった。**（学習発表会）**
・和田先生が来てくれてうれしかった。６年生のみんなが「きれいやな。」と言ってくれてうれしかった。**（写生会）**
・木を運びました。原さんと前田さんが来てくれてうれしかった。１年生と２年生と一緒に焼き芋を食べてうれしかった。塩ラーメンをつくった。**（やきいも大会とお礼の会）**
・ローマ字で「岡本先生」と書けるようになってうれしい。**（ローマ字入力）**
・手紙は全部自分で読みたい。とてもうれしい。**（手紙を受け取る）**

# インターネットトラブル防止講座から

大人の方からの感想

講師:篠原嘉一先生

- 時代が進むにつれ、知らなかった危険なアプリが増え、親として無知であるのがこわくなりました。
- 今、ケイタイを使った犯罪が増えている中、してはいけないことをきちんと話してくださりとてもよかったです。毎年繰り返し必要なお話だと思いました。
- 子どもの命、人権、健康を守るために必要な知識を正確に得ることが大事だと改めて思いました。自分が書き込んだことは必ず自分に帰ってくることを心に刻むべきだと思います。
- アプリ、ゲーム、LINE、YouTube の気をつけなければならないことを聴けたので勉強になりました。テレビの CM って要らないと思っていましたが、脳の休憩のためには必要だったんですね。驚きでした。
- アプリや使い方は子どもの方が詳しくなり、どんな危険があるのかもわからないままだったので、話が聞けて本当に良かったです。子どもが危険度の高いアプリを入れていたのですぐにアンインストールさせました。

## ②「キクを飾ろう」から　～環境体育委員会～

人権参観日では各教室やロビーに「キク」を飾っていました。前日農園（キク栽培）から環境体育委員会の５人の児童が「どのキクがきれいか？」「色の組み合わせは？」「本数は？」など、自分たちで考えながら選びました。男の子も女の子もとっても楽しんで取り組んでいました。花の美しさを楽しみ、それぞれの心に自然をとりこみながら作業をしている姿がとっても印象的でした。家庭やまたこれまでの学校生活のなかでも、花や自然にしっかりと向き合ってきたというベースがあってこその姿だったように思えます。

## ③「いいところ見つけ」から　～計画委員会～

児童会の取り組みで、全校生に呼びかけて「いいところ見つけアンケート」を実施しています。９月にも行い、今月（11 月）も行いました。学年ごとにシートがあり、個々で Canva に付箋を貼って書き込んでいきます。最終的には各学年のシート（書き込まれたもの）を廊下に掲示しています。11 月の６年生のシートをのぞいてみると、「マラソン大会でみんながたくさん応援してくれたからこそがんばれた」「マラソン大会の片づけを５年生がしてくれた」「１年生のサポート掃除を手伝ってくれた」など、周りへのやさしさや気づかいをとりあげている内容も多く、あたたかさが伝わってきます。